

道の駅 越前たけふ

福井県越前市

設計・監理／木下設計

施工／田中建設・北信建設・キョエイビルド 特定建設工事共同企業体



南側外観 翼を広げたコウノトリをイメージした道の駅外観

地域外から活力を呼び込む交流の拠点 (ゲートウェイ)

福井県民にとって待望の2024年北陸新幹線開業。福井県内4つの新幹線駅の一つでもあるJR越前たけふ駅は、県内で唯一現駅併設でない新設駅となる。周辺は農地が広がっており都市施設は存在しない。新幹線、北陸自動車道武生IC、国道8号、県道が近接する広域交通の結節点といった地理的特性を持っている。その地の利を活かし、地域外からも活力を呼び込む交流の拠点(ゲートウェイ)とした整備の取りかかりが道の駅 越前たけふである。

建設地の越前市は、自然や伝統、文化など地域資源が豊かで、丹南地域の中心としてこ

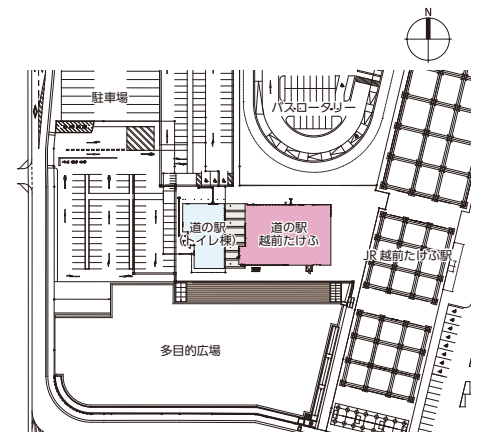
れまで発展を遂げてきた。また、コウノトリが日本で最後まで生息していた地域の一つでもある。このことから、先に整備されたJR越前たけふ駅はコウノトリをモチーフとした意匠としており、本道の駅においてもそれに倣う必要があった。「翼を広げたコウノトリをイメージしたJR越前たけふ駅や周辺整備との調和を図り、地域の伝統・文化にあふれ、食文化に触れる道の駅」をコンセプトに、人・食・文化が集う「越前たけふ」にしかないランドマークとなる施設にしたいと考えた。

建物外観は、成形な平面計画に、大きくせり出した羽ばたくコウノトリを表現した屋根形状のシンプルな構成としている。大きく開かれた開口部からは、中の賑わいが外部に発

信され、また、周辺の美しい田園風景・山並みを内部に取り込み、広がりがある居心地の良い空間を形成した。内部には伝統工芸品である、越前箆笥(カウンター)・越前和紙(壁クロス)・越前打刃物(サイン)・越前焼(手洗い)を要所にちりばめた。訪れた人々には伝統や文化を感じ、興味を持ってもらいたいと願う。1階店舗と2階飲食スペースとは通常異種用途区画が発生するが、運営事業者との協議のうえ緩和規定の適用により、区画することなく上下階の空間をつなげることで、各階の賑わいが吹抜を介しシームレスにつながる、伸びやかな空間を形成している。



色調・デザインは、JR越前たけふ駅、トイレ棟、バスロータリーと統一感を持たせた



配置図 縮尺1/3,000

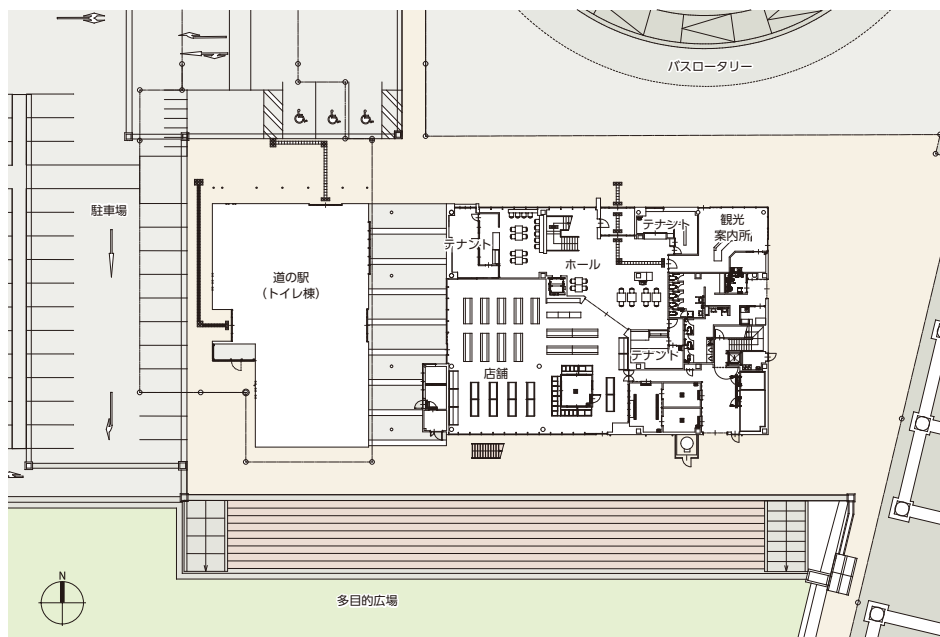


吹抜を介して2階飲食スペースとシームレスにつながる1階店舗

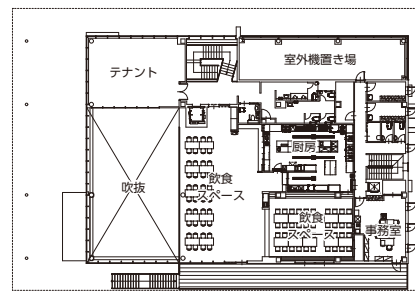
道の駅の竣工後、JR越前たけふ駅周辺では、多目的広場やバスロータリー、幹線道路が整備された。また、大手地元企業や商業施設、ホテル、飲食施設の誘致も想定されており、JR越前たけふ駅の整備を皮切りに、新たな

街の形成が急ピッチで進んでいる。道の駅越前たけふが、地方都市に賑わいと活気を与え、地元だけでなく地域外からも人が集う交流の拠点（ゲートウェイ）となればと思う。

(梶久仁雄、河端俊弘/木下設計)



1階平面図 縮尺1/800



2階平面図



梶 久仁雄……かじくにお

1959年福井県生まれ。1982年福井大学工学部建築学科卒業。1984年木下設計入社



河端 俊弘……かわばた としひろ

1978年福井県生まれ。2002年福井工業大学工学部建築学科卒業、2003年本禄建築設計事務所入社。2017年木下設計入社



松田 英一……まつだ えいいち

1979年福井県生まれ。2001年長岡造形大学環境デザイン学科卒業。2009年木下設計入社



伝統工芸品を多用した1階観光案内所



上/眺めのよい2階テナント 下/2階飲食スペース

施工計画

建設地は北陸新幹線越前たけふ駅に隣接した場所である。駅舎建設工事と近接していたため、工事エリアを明確にし、工程、搬入経路等打合せを密に行いながら工事を行った。

羽ばたくコウノトリを表現した屋根が、建物中央に向かう勾配となっているため、納まり、配管経路、レベルの管理を徹底して施工した。

基礎工事では、外気を建物の地下空間に取り込み地熱を利用する計画があり、地中梁の高さ、開口位置の検討をした。内装材には地場産材を

活用した和紙クロスを随所に使用した。

越前市、設計監理者、電気設備、空調・給排水設備関係者と意見、調整を行いながら工事を進め、無事に竣工することができた。丹南の玄関口、地域のランドマークとなる施設の建設に携われたことを光栄に思う。 (吉村貴生/田中建設)



吉村 貴生……よしむら たかお
1977年福井県生まれ。2000年福井工業大学建設工学科建築学卒業、同年田中建設入社。現在、同社建築部工事長

(写真提供/田中建設)



屋根工事状況

道の駅 越前たけふ データ

所在地 福井県越前市大屋町38-5-1

主要用途 道の駅

建築主 越前市

設計・監理 木下設計

担当/建築：梶久仁雄、河端俊弘 構造：松田英一

機械 サワサキ設備事務所 担当/沢崎芳樹

電気 ヒロ設備計画 担当/椿比呂志

施工

建築 田中建設・北信建設・キョエイビルド 特定建設工事共同企業体
担当/吉村貴生

電気 大虫電工・横山電設 特定建設工事共同企業体
担当/新谷隆介

機械 赤堀・宇野電機 特定建設工事共同企業体
担当/橋本敬之

設計期間 2019年3月～2021年3月

工事期間 2021年3月～2023年4月

[建築概要]

敷地面積 12,129.62㎡

建築面積 1,143.19㎡

延床面積 1,396.80㎡

店舗数 4店舗

建ぺい率 9.43% (許容70%)

容積率 11.46% (許容100%)

構造規模 S造 地上2階

最高高さ 10.67m

軒高 10.241m

階高 1階：4.000m 2階：4.250m

天井高さ 1階/物販1：8.665m 地元特産品即売所：2.700m 2階/休憩スペース1・テナント：4.665m 休憩スペース2：2.550m

道路幅員 西側10.255m

駐車台数 普通車138台、大型車28台

[設備概要]

電気設備 受電方式/高圧受電方式 変圧器容量/450kVA
予備電源/太陽光パネル110kW

空調設備 空調方式/空冷HP方式 熱源/電気

衛生設備 給水/上水道直結給水方式 給湯/局所方式(電気温水器) 排水/分流方式

防災設備 消火/自動火災報知設備、誘導灯、非常警報設備、消火器

昇降機 乗用(11人乗)×1基

[主な外部仕上げ]

屋根 カラーGL鋼板立平葺一部スチール防水(熱溶着防水工法)、塩ビシート防水(屋外機械置場)

外壁 カラーGL鋼板K型スパンドレル横張、金属系サイディング張、押出成形セメント板横張、ALC板縦張

建具 アルミサッシ

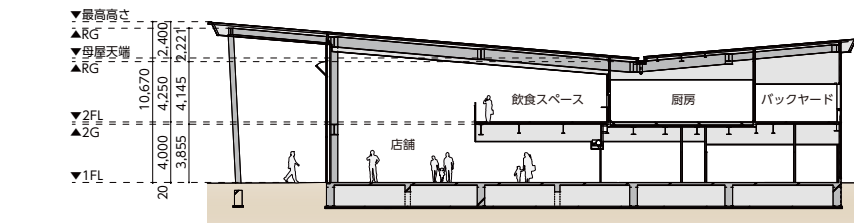
外構 インターロッキングブロック舗装

[主な内部仕上げ]

エントランスホール 床/ビニル床タイル 壁/和紙クロス 天井/岩綿吸音板

観光案内所 床/タイルカーペット 壁・天井/和紙クロス
物販1 床/ビニル床シート(木調) 壁/無機質クロス(一部和紙クロス) 天井/無機質クロス

撮影/近代建築社(佐武浩一)



協力会社

| | |
|----------|-----------|
| 鉄骨工事 | 近江鉄工 |
| 屋根・外壁工事 | 北川 |
| アルミ製建具工事 | Y K K A P |
| 軽量鋼製建具工事 | 山金工業 |
| シャッター工事 | 文化シャッター |
| 防水・塗装工事 | 明光建商 |
| 産業廃棄物処理 | 北陸環境サービス |